

岡田かつやオープンセミナー

# 北朝鮮問題と日本外交を考える

---

2018年6月3日

衆議院議員 岡田かつや

# 北朝鮮問題に関する安倍総理発言

- 「『**全ての選択肢がテーブルの上にある**』とのトランプ大統領の立場を**一貫して支持**している」
- 「**対話のための対話**では全く意味がない」



(昨年11月6日、日米共同記者会見)

# 安倍総理の国連演説(2017年9月)

- 「北朝鮮に対し、1994年からの十有余年、最初は**(米朝)枠組み合意**、次には**六者会合**によりながら、辛抱強く、対話の努力を続けた」
- 「しかし、北朝鮮は、核、ミサイルの開発を諦めるつもりなど、まるで持ち合わせていなかった」
- 「対話とは、北朝鮮にとって、**我々を欺き、時間を稼ぐため**、むしろ最良の手段だった」
- 「我々は**三度、同じ過ち**を繰り返すのか。必要なのは、対話ではない。圧力だ」

# 過去の検証—3つの合意と失敗

- ① 米朝枠組み合意(1994年)
- ② 六者会合共同声明(2005年)
- ③ 日朝ストックホルム合意(2014年)

# 米朝枠組み合意(1994年10月)

- 北朝鮮の原子炉の建設を停止し、**軽水炉2基**に置き換え
- 軽水炉が完成するまでの間、**重油50万トン**を供給
- 米国は、核兵器を北朝鮮に対して使用せず、脅威も与えないことを**保証**
- 北朝鮮は、1992年の**朝鮮半島の非核化**に関する共同宣言を履行

# 第1次核危機から米朝合意まで

## 1993年

3月 北朝鮮、NPT脱退宣言

5月 北、日本海に「ノドン」発射

## 1994年

6月 北、IAEA脱退宣言

カーター一元大統領訪朝

7月 金日成主席が急死

10月 米朝枠組み合意



# 第2次核危機と米朝合意の崩壊

1994年10月 米朝枠組み合意

2000年 6月 南北首脳会談

10月 オルブライト国務長官が訪朝

2001年 1月 米ブッシュ政権発足

2003年 1月 北朝鮮がNPT脱退宣言

2006年 5月 軽水炉提供事業を終了



# 六者会合共同声明(2005年9月)

- 平和的な方法による、朝鮮半島の検証可能な非核化が目標
- 北朝鮮は、全ての核兵器と核計画を放棄
- 米国は、朝鮮半島で核兵器を保有せず、北朝鮮への攻撃・侵略の意図を有しない
- 国交正常化、エネルギー支援、経済協力
- 「約束対約束、行動対行動」の原則

# 六者会合の経過

2003年 8月 第1回会合の開催

2005年 9月 第4回会合で共同声明

米、バンコ・デルタ・アジアの北  
朝鮮口座を凍結

2006年 7月 北、ミサイル発射

10月 北、初の核実験

2008年12月 最後の六者会合、非核化の検  
証方法で合意できず



# 『ライス回顧録』

- 「国務省と国防総省との溝は深く、また、国務省内にも亀裂があった」
- 「小泉の退任後、とても国を前進させることができるとは思えないような首相が何人も続いた。日本を訪問するのがどんどん憂鬱になってきた」

「もしかして、日本は六者会合の失敗を望んでいるのではないか、そういうふうを感じるようになってきた」

# 日朝ストックホルム合意(2014年5月)

- 全ての日本人について包括的・全面的な調査

- ・拉致被害者・行方不明者
- ・いわゆる日本人配偶者
- ・残留日本人 ...など



1年を超えることはないだろうと思っている

- 北朝鮮が特別調査委員会を立ち上げ、日本は独自制裁の一部を解除

# ストックホルム合意の崩壊

## 2014年

5月 日朝ストックホルム合意

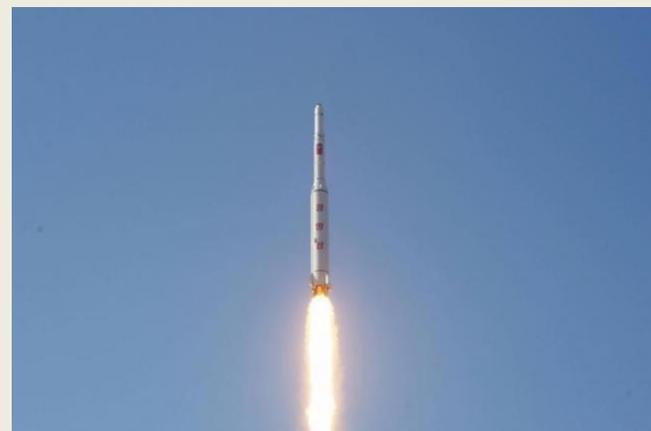
7月 北朝鮮、特別調査委員会を立ち上げ  
→日本、独自制裁を一部解除

10月 外務省局長ら平壤へ

## 2016年

1月 北朝鮮が核実験

2月 北、ストックホルム合意の破棄を発表



# 北朝鮮をめぐる最近の動き

- 2月 9日 平昌オリンピック開幕
- 3月 5日 韓国特使訪朝、金正恩委員長と会談
- 8日 トランプ大統領が米朝首脳会談を決断
- 26日 中朝首脳会談
- 4月27日 南北首脳会談
- 5月 9日 米国人3名解放
- 24日 北、核実験場を爆破
- トランプ氏、米朝首脳会談の中止表明
- 6月12日 米朝首脳会談？



# 南北首脳会談「板門店宣言」

- **完全な非核化**を通じて**核なき朝鮮半島**を  
実現
- **年内に朝鮮戦争の終戦宣言**を行い、休戦  
協定を**平和協定**に転換するため南北米ま  
たは南北米中で協議
- 今秋、文在寅大統領が  
平壤を訪問
- 離散家族の再会を進める



# 北朝鮮非核化の最終目標は？

- 核・ミサイルの**完全、検証可能かつ不可逆的**な放棄(CVID)
- 拉致・核・ミサイルの諸懸案を**包括的に解決**し、北朝鮮との不幸な過去を清算して国交正常化

# 非核化までのプロセスは？



トランプ大統領

我々は決して過去の政権の行った過ちを繰り返すことはない。**北朝鮮が非核化されるその時まで、我々は最大限の圧力を続けていく**

安倍総理



対話に応じるだけで見返りを与えるべきではない。最大限の圧力を維持し、非核化に向けた**具体的な行動**を求めていく

**具体的な行動を取らない限り、制裁は維持しなければならない**